

秋の全道火災予防運動を実施しました!

10月15日から10月31日までの17日間、秋の全道火災予防運動が行われました。この運動は、暖房機器の使用等により火災が発生しやすい季節を迎えるに当たり、道民の火災予防思想の一層の普及を図ることで火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。



占冠支署では、期間中の消防車両による火災予防広報、消防査察、高齢者宅への防火訪問、防火啓蒙ゲートボール大会を行いました。

2023年も残りわずかとなりましたが、転倒によるけがや体調管理、火の元には十分注意して事故のない年末年始を過ごしましょう。

救急出場状況

(10月分)

交通事故	1件(0人)
一般負傷	1件(1人)
急病	8件(7人)

10月計	10件(8人)
累計	173件(153人)
※()内は搬送人員	

瓦版にご意見・ご要望があればご連絡ください!



野生動物対策の状況

農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
56-2174

エゾシカ

この秋、オスの雄叫びが例年より不活発な気もしますが、皆さまはどうお感じでしょうか。なお10月の駆除捕獲34頭は7:3の比でオスが多く捕られました。猟区の狩猟では8頭全てがオスでした。

ヒグマ

11月の初旬は前月と同様、双珠別を中心に出現が頻発しましたが、以降は静穏に経過しています。しかし16日に突然、川添団地の敷地にはぐれ子グマが侵入しました。10月にも付近で若いオスが侵入しましたが、今回の個体と家族行動はなかったはずで、連続侵入の確たる理由は見出せていません。日頃から中央市街を囲む河畔林を複数個体が行き来しており、宮下橋付近は特に市街地が細く狭いので、ヒグマにとって敷居が低くなっているかもしれません。農作物の残りがす、生ごみ、ペットの餌などが誘引する可能性も踏まえ、注視すべきと考えています。

酪農学園大学の研究チームは、11月3日に今年2頭目の標識装着に成功しました。現在2頭の行動を電波で調べています。1頭目は11月5日頃、2頭目は11月11日頃から通信不順となりました。今後精査は必要ですが、冬眠穴に入った可能性があります。冬眠開始だとすれば随分早いと感じますが、食べ物

が乏しいため早まったのか、そもそも例年いつから始まるのかも分かっていません、ぜひ知りたいですね。いずれにせよ12月中の活動は普通であり、真冬の活動も皆無ではないので、用心は続けましょう。



(双珠別 11月7日)

◆ 猟区の入猟対応について

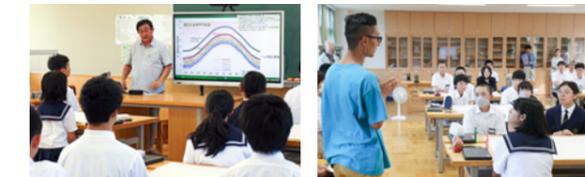
10月に猟期入りし、一般の狩猟者を対象にシカのガイド猟を実施しています。経験の浅い方が技術習得を主眼に利用することもあり、好評を得ています。また北海道主催の駆除従事者向け技術研修は今期も予定の2回を開講し、無事に役目を果たしました。村内だけでなく全道、全国の狩猟者の資質向上に寄与できるよう、努めてまいります。

◆ そのほか

村の捕獲従事者に佐々木孝史さん(字中央)が加わりました。今後、技術の研さんに努めながら、地域の野生鳥獣対策に励んでいただきます。ご承知のほど、よろしくお願いたします。

生徒の成長への支援に感謝

9月9日、「唯一無双~僕ら全員が主役~」のスローガンの下、第77回学校祭を開催しました。今年度は、新型コロナ対策が緩和され、来校者の制限が廃止されました。半面、猛暑のため、生徒にとって練習期間が短い取り組みとなり、また、生徒数減のため、1・2年生は合同での創作活動にもなりました。それでも生徒は限られた時間のなか主体的に活動し、それぞれの発表で観客に楽しんでもらえるよう本番まで可能な限り工夫を凝らしていました。全校合唱でも、生徒が取り組む姿を披露することができました。



9月15日には、ふるさと教育推進授業として、北大の山中教授とVOCKの長谷川夫妻を招き「これからの学びや対話について」「村で働く人にインタビュー」という中身で授業を行っていただきました。トナム学校の生徒とともに、考えを深めました。

10月、占冠村とアスペン市との姉妹都市提携事業の一環で、23日は姉妹都市提携30周年記念式典に参加、26日には、アスペン市の生徒たちが占冠中を訪問しました。訪問の際は、ミニバレーや書道体験、調理実習など、異文化交流として充実した時間を過ごすことができました。1月には、2年生5人のアスペン市への派遣が予定されています。

占冠中の生徒にとって2学期は、行事の続く忙しい時期です。しかし、その一つ一つが貴重な体験として大きな成長につながっています。その生徒の活動を支えている保護者の皆さまをはじめ、地域の方々のご理解、ご支援に対して、心より感謝いたします。

今後、さらに中学校の生徒数減少が続きます。今年度、小中連携として、合同運動会や合同の1日防災学校などに取り組みました。合同で実施できた行事は改善を加え、生徒が生き生きと活動できる学校づくりを進めたいと考えています。



こちら駐在所です

占冠駐在所
56-2110

飲酒運転の根絶

~「なにで来た?」乾杯前の合言葉~



飲酒運転は悪質な犯罪!

飲酒運転は、悪質、危険な犯罪です。飲酒は安全運転に必要な情報処理能力、注意力、判断能力を低下させ、運転に大きな影響を及ぼし、重大事故につながる危険性を高めます。

皆さん一人一人が「飲酒をしない、させない、許さない、そして見逃さない」ことを強く意識して、社会全体で飲酒運転を根絶する気運を醸成しましょう。また、二日酔いでの運転も「飲酒運転」となりますので、飲酒した翌日に運転する場合は、身体にアルコールが残っていないかしっかりと確認しましょう。

飲酒運転は、運転者以外も処罰の対象!

飲酒運転は、運転者だけでなく、運転者以外の人にも重い処罰があることを知っていますか。

車を運転する恐れのある人にお酒を提供したり、お酒を飲んでいる人に車を提供したり、飲酒運転の車に同乗した場合は、飲酒運転と同様に処罰の対象になります。

「ハンドルキーパー運動」で飲酒運転を防止!

ハンドルキーパー運動とは、仲間と車で飲食店に行く場合、あらかじめお酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が仲間を自宅まで送り届けることです。

